取材日：　平成 28 年　12 月　16 日

長久手人 File No. 1

長久手人の氏名
ニシオ　トシエ 西尾　寿江

活動内容	長久手市劇団　座☆NAGAKUTEの劇団員として演技を披露し、奮闘中！

Q1 活動内容と始めたきっかけは？

平成24年に入団、3年目になります。高校時代に演劇部に所属していましたが、それ以降はお芝居ができる環境に恵まれませんでした。けれど、心の中にずっとやりたい気持ちは残っていました。地元に戻ってきたとき、たまたま団員募集の要項をみかけ、応募しました。稽古を見学した時、70歳の方も頑張っている姿に感動し、自分にもまたできるのではないかと奮い立ち、参加しようと思いました。長年の夢が、叶いました。

Q2 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりがいがある！と思う事は？

演出家の先生の話を聞いたり、先輩方の積み重ねられてきた演技を見たりできることに感動し、ため息をつくこともしばしば…。しかし、役者をやりながら苦しみもあり、楽しみもありの繰り返しの中で、出来上がっていく自分そのものに充実感があります。今は『長久手人物語』の劇のなかでとてもいい役をさせていただけたことに、感謝しています。次の公演に向けて家の中でも猛練習中、役者としてやりとげられるのも、一緒に暮らしている家族の協力があってこそできること。ありがたいです。

Q3 ずばり！あなたが考える「幸せ」とは？

家族が安定しているので、孫と遊んだり、仕事もやり、趣味のお芝居もすることができ、とても充実していることに幸せを感じています。家族がいるから、頑張れる。そんな今が一番幸せです。

Q4 フリーメッセージ

（例）将来の目標、参加の呼びかけ

孫の将来のためにも、もっともっと住みよい長久手市になっていってほしいです。具体的には、自分の住んでいる地区には公園が少ないので、まず公園がもっとほしいです。自分としては長生きができ、座をずっと続けられるといいと思います。

劇団の稽古の様子。本番直前、気合いが伝わります

市民劇「長久手人物語」では、市役所職員を熱演！

取材者（　てらし＆ともこさん　）のコメント

とてもお孫さんがいるとは思えない程、きれいな方でした。その姿には家族への思いや、充実した環境が映し出されているのだなあと感じました。趣味のお芝居も、一人で行うことはできませんよね。なので、色々な人と関わり合いながら送る生活が充実感を生み出すのかなと思います。これからも素敵な市になるよう役者として発信していってほしいです。